

# 株式会社ジェイ・ポート

## 2025 年度 環境経営レポート

(対象期間 2024 年8月1日～ 2025 年7月31日)



作成日： 2025年11月30日

# 環境経営方針

## <環境経営理念>

私たちが関わる産業廃棄物業界においては、不法投棄、有害物質の発生、大気汚染、自然破壊といったネガティブなイメージが先行している一面が少なくないかもしれません。

ある意味それは当業界の業務が環境に多大な影響を与えることを示しており、今後、我々は人・社会・自然など地球のすべてのものと共生をすることを考えた上で環境保全活動に率先して取り組まなければならない責務を負っていると言えます。

同時にその影響力をもって、我々の地道な業務の積み重ねにより世の中をいい方向に変えられるという気概を社員一人一人が持ち続けたいと考えます。

これまで私達が不自由なく享受してきた水・大地・空気といったかけがえのない地球の財産を次世代に美しい状態で引き渡すため、ひいては経済活動（エコノミー）と環境保全（エコロジー）が両立できる持続可能な社会を創り出すため、その社会的責任を自覚し、社員一丸となり継続的に環境活動に取り組んで参ります。

## <環境保全への行動指針>

1. 私達は、大量消費社会から循環型社会への転換を図るべく以下の環境方針に沿って、環境保全活動に取り組めます。  
環境関連法令と当社が承認した協定等を遵守し、産業廃棄物の適正処理を行います。
2. 省エネルギー、省資源、再資源化に配慮した事業活動を展開します。  
また、電気使用量、燃料消費量、廃棄物の排出量等の数値を把握し削減目標及び再資源化（リサイクル率）向上を目指します。廃棄物の発生抑制につとめ、建設副産物のリサイクル率の向上に努めます。  
目標達成できるよう社内全体で取り組みます。
3. 社内での意識を高める為、社員への環境教育、啓蒙活動を行います。
4. 社外に対し、環境活動レポートを公表し、当社で行う環境保全活動を紹介し環境に関する情報を提供します。
5. 地域に根差した企業として住民の皆様の要望に耳を傾け、協力し環境コミュニケーションを大切にしていきます。



制定日：2008年10月1日

改定日：2021年1月12日

(1) 名称及び代表者名

株式会社ジェイ・ポート  
代表取締役 樋下 茂

(2) 所在地

本社 大阪府大阪市鶴見区今津北3丁目3番13号  
第二工場 大阪府大阪市鶴見区今津北3丁目2番10号  
此花リサイクル工場 大阪府大阪市此花区梅町2丁目3番55号  
セミナールーム 大阪府大阪市鶴見区今津北4-10-12 (2026年サイト拡大予定)  
ジェイ・プール 大阪府大阪市鶴見区今津北3-1-15 (2026年サイト拡大予定)

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 取締役 樋下 香織 TEL: 06-6963-5351  
担当者 環境事務局 菌部 祐子 TEL: 06-6963-5351

(4) 事業内容

産業廃棄物処分量 (中間処理)、産業廃棄物収集運搬業 (積替保管あり)  
特別管理産業廃棄物収集運搬業 (積替保管あり)、道具商、金属くず商

(5) 事業の規模

法人設立 1996年8月2日  
事業年度 8月～翌年度7月  
資本金 1,300万円  
売上高 842百万円

	本社	第二工場	此花リサイクル工場
従業員	62名		
床面積	423.8 m <sup>2</sup>	326.75 m <sup>2</sup>	1026 m <sup>2</sup>
敷地面積	438.9 m <sup>2</sup>	339.9 m <sup>2</sup>	2,951 m <sup>2</sup>
駐車場	202.00m <sup>2</sup>		—

受託した産業廃棄物

収集運搬量	7,991 t		
収集運搬量 (特管)	1 t		
中間処理量	1,411 t	うち再資源化量	1,131 t
最終処分量	0 t		
中間処理後の産廃の処分量	1,461 t	うち再資源化量	1,131 t

所有車両	台数	車種	台数	車種	台数
10t コンテナ車 ★	1台	6t プレス ★	1台	パワーショベル 内5台★	7台
8t コンテナ車 ★	2台	3t プレス	2台	フォークリフト 内4台★	6台
4t コンテナ車	3台	3t 平車	1台	ホイールローダー ★	1台
2t コンテナ車	2台	2t 平車	1台	営業車	1台
2t箱車	1台	軽箱車	2台		

★此花工場

工場設備	本社工場		第二工場		此花リサイクル工場
	産廃	特管産廃	産廃	特管産廃	産廃
保管面積	165m <sup>2</sup>	10m <sup>2</sup>	148m <sup>2</sup>	13m <sup>2</sup>	82.5m <sup>2</sup>
保管上限	106m <sup>2</sup>	2m <sup>2</sup>	73m <sup>2</sup>	2m <sup>2</sup>	2.5m×1/2
積み上げ高さ	2.1m	1m	2m	0.7m	103m <sup>3</sup>
設備	150t プレス1基、75t プレス1基		30t トラックスケール		一軸破砕機
	天井式クレーン2基、切断機2台		天井式クレーン1基		4.7t/日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：株式会社ジェイ・ポート  
対象事業所：本社

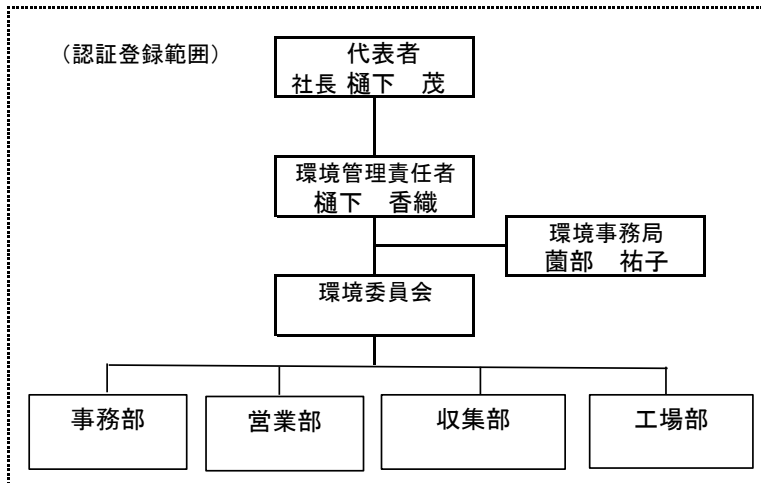
第二工場  
此花リサイクル工場

対象外：セミナールーム (2026年サイト拡大予定)  
ジェイ・プール (2026年サイト拡大予定)

活動：産業廃棄物処分量 (中間処理)、産業廃棄物収集運搬業 (積替保管あり)  
特別管理産業廃棄物収集運搬業 (積替保管あり)、道具商、金属くず商

□事業の紹介

清掃法が成立した昭和29年、大阪市より一般廃棄物収集運搬業の許可を得て以来、65年にわたり廃棄物に携わっている会社です。時代とともに法律が変わり、一般廃棄物のみならず、産業廃棄物に特化した株式会社ジェイ・ポートを設立し、多様なニーズに応じております。主な事業は産業廃棄物処理業です、運ぶ、中継する、処分するを一貫して行っております。また、海外へのリユース品の輸出するリユース事業、お客様に環境に関する情報を提供、セミナーなどを行う環境コンサル事業も行っております。



	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任</li> <li>・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備</li> <li>・環境管理責任者を任命</li> <li>・環境経営方針の策定・見直し</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>・代表者による全体の評価と見直し、指示</li> <li>・環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>・環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局</li> <li>・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成</li> <li>・環境活動の実績集計</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）</li> </ul>
環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営計画の審議</li> <li>・環境活動実績の確認・評価</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自部門における環境経営方針の周知</li> <li>・自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>・時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施</li> <li>・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>・試行・訓練を実施、記録の作成</li> <li>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

□許可の内容

産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	廃棄物の種類																		
					燃え殻	汚泥	廃プラスチック	木くず	紙くず	繊維くず	ゴムくず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属くず	動植物性残さ	鉱さい				
優良	大阪府	第02700043182号	令和6年7月22日	令和13年7月2日	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
優良	大阪市	第6610043182号	令和3年10月14日	令和10年10月13日	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
優良	京都府	第02600043182号	令和6年1月26日	令和12年9月15日	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
優良	兵庫県	第02803043182号	令和5年9月11日	令和12年8月31日	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
優良	和歌山県	第03000043182号	令和5年3月7日	令和11年10月4日	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
優良	三重県	第02400043182号	令和8年2月24日	令和15年2月23日	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
優良	奈良県	第02900043182号	令和7年7月25日	令和14年7月24日	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
優良	岡山県	第03300043182号	令和6年3月6日	令和13年1月15日	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
優良	広島県	第03400043182号	令和7年1月31日	令和12年1月30日	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
優良	滋賀県	第02501043182号	令和7年12月8日	令和12年12月7日	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

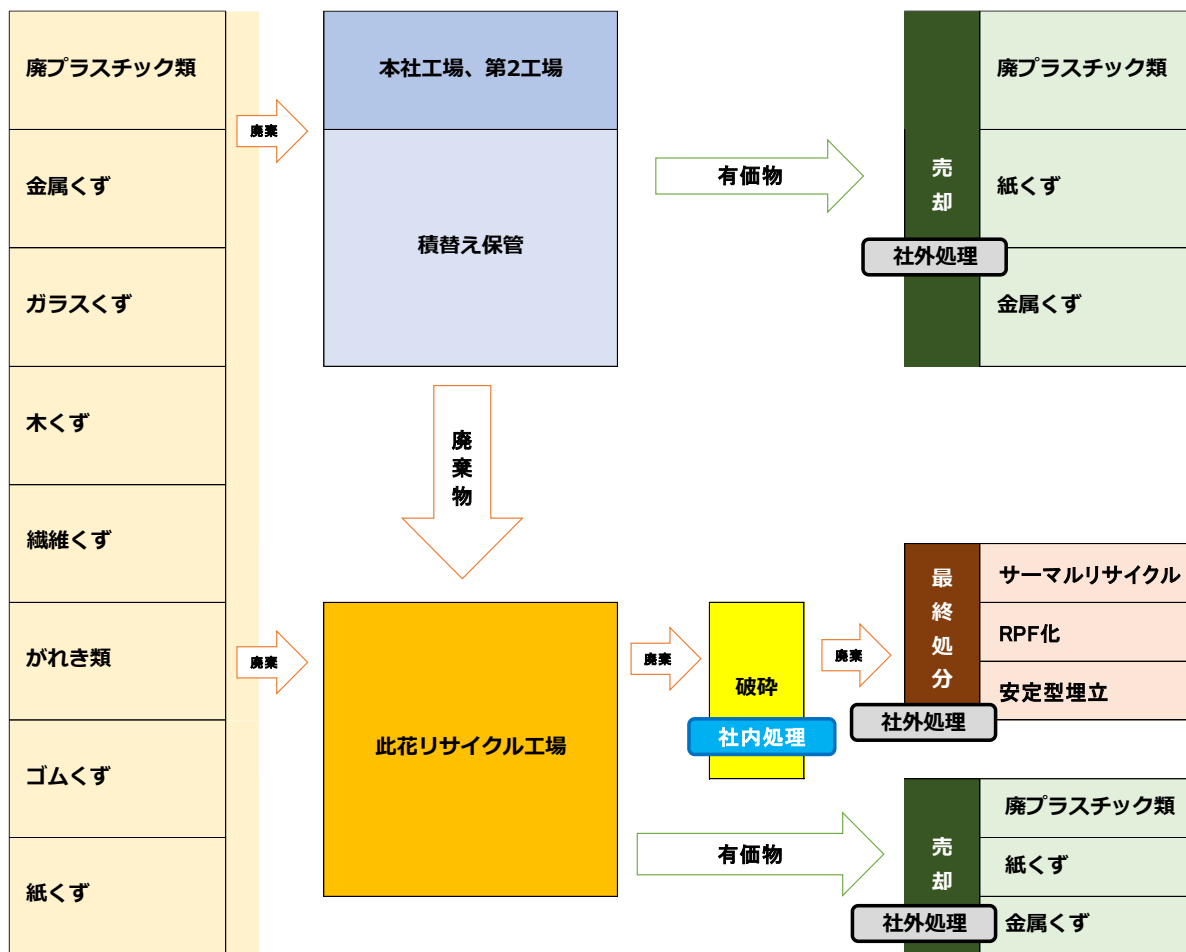
特別管理産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	廃棄物の種類																		
					廃油	廃酸	廃アルカリ	廃石綿等															
優良	大阪府	第02750043182号	令和5年12月3日	令和10年12月12日	無	○	○	○	○														
	大阪市	第6660043182号	令和7年8月4日	令和14年4月16日	無	○	○	○															
	広島県	第03450043182号	令和7年1月31日	令和12年1月30日	無	○	○	○															
	兵庫県	第02853043182号	令和6年8月28日	令和11年8月27日	無	○	○	○	○														

産業廃棄物処分許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	事業の範囲	廃棄物の種類																			
					廃プラスチック	木くず	紙くず	繊維くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	金属くず	ゴムくず												
優良	大阪市	第6620043182号	令和3年10月14日	令和10年10月13日	中間処理																			
					破碎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

□廃棄物処理フロー



処理料金につきましては、引き取り場所、品目等により異なりますので、当社までお問い合わせください。

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2023年	2024年	2025年
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	194,513	189,382	215,326
受託収集運搬量	トン	4,424	7,917	7,991
受託中間処理量	トン	948	1,281	1,411
廃棄物排出量	kg	1,189	1,399	2,846
一般廃棄物排出量	kg	88	92	243
産業廃棄物排出量	kg	1,101	1,307	2,603
水使用量	m <sup>3</sup>	589	670	792
	C02排出係数	0.334	0.334	0.334
	電力会社	関西電力	関西電力	関西電力
	採用年度	2018年度	2018年度	2018年度

□環境経営目標及びその実績

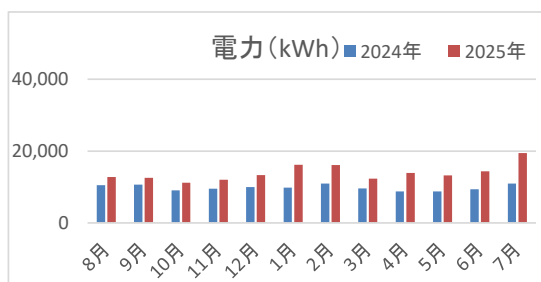
項目	年度	基準値 (基準年)	2025年		評価	2026年	2027年
			(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	39,455	37,482	55,887	×	37,087	36,693
	基準年度比	2024年	95%	142%		94%	93%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	149,927	143,930	159,439	×	142,430	140,931
	基準年度比	2024年	96%	106%		95%	94%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	189,382	181,412	215,326	×	179,518	177,624
一般廃棄物の削減	kg	213	192	243	×	185	183
	基準年度比	2024年	90%	114%		87%	86%
受託廃棄物のリサイクル率の向上	%	—	85%	77%	×	86%	87%
水道水の削減	m <sup>3</sup>	670	603	792	×	590	583
	基準年度比	2024年	90%	118%		88%	87%
環境に配慮した業務の遂行			行動目標（次項による）				

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	電力使用によるCO2排出は、此花工場の増加が要因で目標未達でした。 挽回策として、破砕機の刃の定期メンテナンス、オンデマンド管理を徹底し、さらにチェックリストを用いて業務終了時の照明・電気ポットの消し忘れを根絶します。これらの管理強化と効率化の推進をしていきます。
・エアコン温度管理の徹底（夏：28度、冬：20度）	○	
・不在の部屋の消灯徹底	○	
・電機ポット（保温）は日中のみ使用	○	

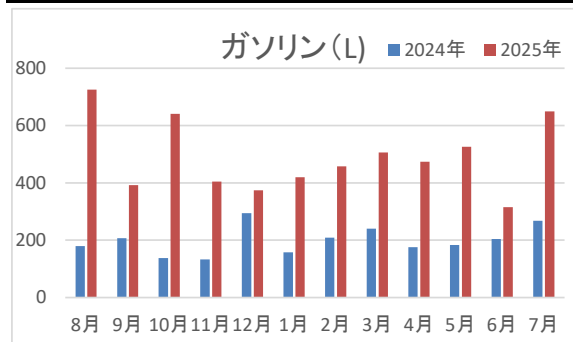


取組紹介欄



	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2024年	10,505	10,654	9,059	9,499	9,971	9,799	10,920	9,561	8,795	8,795	9,379	10,932
2025年	12,759	12,562	11,196	11,982	13,299	16,157	16,119	12,318	13,930	13,202	14,363	19,440

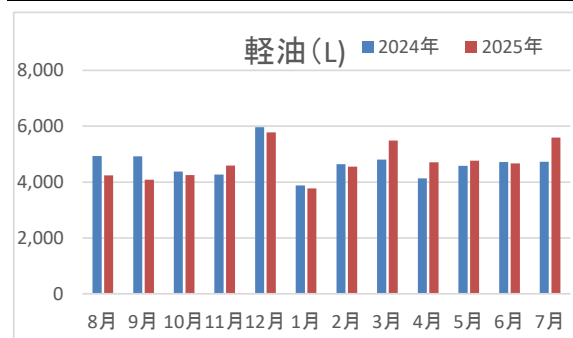
自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	エコドライブ、ルート検討、協力業者への委託は継続。これに加え、DX活用として、動態管理システムで走行・待機データを可視化し、無駄な運行を削減します。また、タイヤ空気圧を運行前に必ずチェックする管理を徹底し、燃費悪化を防ぎます。来期は重機含めこれらの施策を重点的に実施し、中期目標達成を目指します。
・エコドライブの徹底	○	
・合理的な収集経路	○	
・車両点検の徹底	○	



取組紹介欄



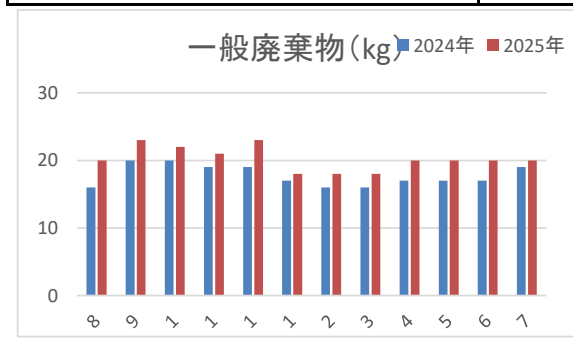
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2024年	180	207	138	133	294	158	209	240	176	183	204	268
2025年	725	392	641	405	374	420	458	506	474	526	315	649



取組紹介欄

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2024年	4,932	4,922	4,377	4,274	5,968	3,880	4,642	4,806	4,136	4,580	4,715	4,730
2025年	4,241	4,085	4,252	4,588	5,782	3,774	4,554	5,488	4,709	4,770	4,669	5,594

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	人員増加により目標未達が続き「×」評価です。来期は、この増加に見合った排出を抑えるため、分別指導の定期実施を継続します。同時に、ペーパーレス化の推進や詰め替え容器の利用徹底による発生抑制を強化。管理部門と現場が連携し、廃棄物発生そのものを意識的に抑制し、来期の目標達成を目指します。
・分別の徹底	○	



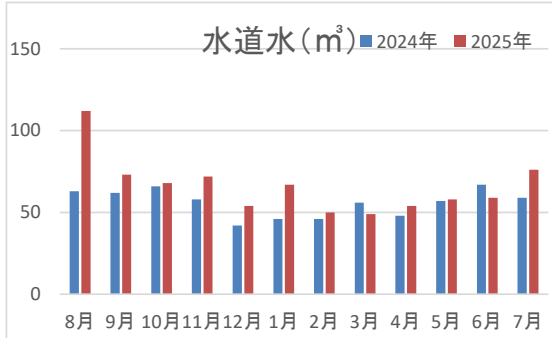
取組紹介欄



	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2024年	16	20	20	19	19	17	16	16	17	17	17	19
2025年	20	23	22	21	23	18	18	18	20	20	20	20

受託廃棄物のリサイクル率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	目標85%に対し実績77%で未達です。来期は、排出先の定期選定、勉強会に加え、風力選別機の活躍で選別精度を高めます。
・ 排出先の選定	○	また、RDF（フラフ燃料）の新規搬出先を開拓することで、リサイクル量を増やし、リサイクル率のさらなる向上と最終的な目標達成を目指します。
・ 選別の徹底	○	
・ リサイクル先の開拓	○	
・ 処分施設の見学	○	

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	人員増、洗車増、散水により目標未達が続く「×」評価です。
・ 散水時の節水	△	来期は、節水行動の徹底に加え、雨水利用システムで散水用水、節水型器具の導入も合わせて検討します。これらの設備投資により、構造的な増加要因に対応し、新たな節水基準の確立を目指します。
・ 洗車時の節水	△	
・ トイレの二度流し禁止	○	



	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2024年	63	62	66	58	42	46	46	56	48	57	67	59
2025年	112	73	68	72	54	67	50	49	54	58	59	76

環境に配慮した業務の遂行	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・ 作業開始前の車両点検	○	活動が計画通り進み「○」評価です。
・ エコドライブの推進（燃料使用量は別項）	○	来期も作業開始前の車両点検とチェックリスト管理を徹底。業務効率と環境負荷低減の両立を継続・強化し、環境経営の基盤を磐石なものとしします。
・ 積み残しの削減	○	
・ 車両の清掃	○	

取組紹介欄



**□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無**

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	収集運搬業、中間処理業、産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準
道路交通法	車両の大きさ・重量、通行制限、アルコールチェック
建設リサイクル法	解体工事、建設副産物
大気汚染防止法	解体時の石綿含有事前調査、報告、掲示
大阪府条例（流入車規制）	収集運搬車
フロン排出抑制法	空調機の定期点検
家電リサイクル法	今期廃棄無し

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

**□緊急事態対応訓練**

緊急事態の想定： 火災発生（本社工場）	
■実施日： 2025年2月12日	■実施場所 本社工場
■参加者： 本社勤務全従業員	■実施内容 火災訓練
■評価： 参加者全員救命救急についての知識を身に付けることができ、かつ実践を行うことが出来た。	手順書の変更の必要 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子	手順書の変更の必要 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
	
<p>廃棄物からの火災を予測し、火災訓練を全社員で行いました。水消火器を使った消火のデモンストレーションも実施。引き続き、年に一度社内全体を通した避難訓練を行っていきます。また、火災対应手順書の変更の必要</p>	

緊急事態の想定： 火災発生	
■実施日： 2025年10月9日	■実施場所 此花工場
■参加者： 此花工場勤務全従業員	■実施内容 消火器点検
■実施状況の様子	手順書の変更の必要 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
	
<p>火災の発生を予測して、火災対応に対するシミュレーションを行いました。消火器の確認は毎月1回行っています。また、火災対应手順書の変更の必要性がないことを確認しました。</p>	

数年来続いたコロナ禍が終わり、当社は新たな活動期に入りました。お客様との接触を強みとする当社の営業活動は活気を取り戻し、事業拡大と人員増加、そして此花工場の拡張に伴い、残念ながら今年度も主要な数値目標は達成できませんでした。

しかし、この使用量の増加は、お客様活動の再開や生産活動の増加という適正な事業活動の裏付けであり、無駄遣いによるものではないと認識しています。

今後は、この適正な使用量データを基盤とし、DX活用、徹底した管理強化を推進します。事業拡大に伴う負荷の拡大が当たり前ではないという意識のもと、環境セミナーや現地確認ツアーを通じたお客様との連携をさらに強化。「環境に

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

### □これまでの環境活動の紹介

2025年は、弊社のエコアクション21認証・登録から16年目という節目の年を迎えます。この長きにわたる継続は、ひとえに歴代の審査人の方々のご指導と、全従業員の環境意識の賜物であり、心より感謝申し上げます。

エコアクション21は、単なる認証維持にとどまらず、弊社の環境活動、そしてSDGsへの貢献に対する取り組みを定期的に見直し、深化させるための重要なツールとなっています。このプロセスを通じて培った環境データを元に、今後も通常業務における更なる改善活動(特にエネルギー使用量の適正化)を推進します。

引き続き、お客様への廃棄物適正処理の啓蒙活動を強化し、持続可能な社会の形成にわずかでも寄

